

表4 男女別受診率

診療年月 (調査月)	受診者数等	性別		計
		男性	女性	
61年 3月	受診者数	5,834人	3,921	9,755
	教職員数	13,230人	8,604	21,834
	受診率	44.1人	45.6	44.7
61年 6月	受診者数	5,352人	3,842	9,194
	教職員数	13,187人	8,618	21,805
	受診率	40.6人	44.6	42.2
62年 3月	受診者数	5,934人	4,144	10,078
	教職員数	13,207人	8,644	21,851
	受診率	44.9人	47.9	46.1
62年 6月	受診者数	5,485人	4,133	9,618
	教職員数	13,164人	8,715	21,879
	受診率	41.7人	47.4	44.0

1 本県教職員の受診状況  
 受診状況は、表4のとおり、教職員全体では、各月とも約四割の方が何らかの疾病により診療を受けています。

これを男女別に見るといずれの月も女性の方が高い割合を示しています。次に、受診率を年代別に見ると、図

三、医療費分析結果

各四十パーセント)であり、年代別教職員数に対する死亡率では、五十代が高く、四十代、二十代、三十代の順に低くなっています。次に死因別では、表3のとおり、第一位が悪性新生物で四十七・七パーセント、第二位が心疾患で十四・二パーセント、第三位が脳血管疾患で十・四パーセントといわゆる三大成人病で全体の七十二・三パーセントを占めています。

図1 年代別受診率

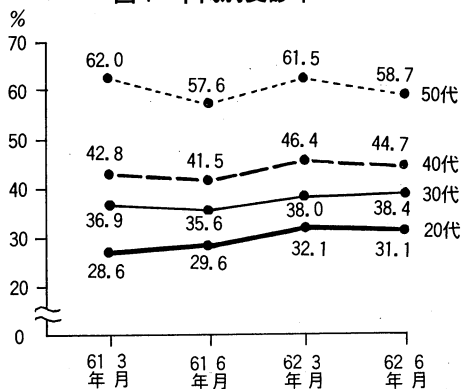


表5 疾病分類による受診状況 (62年6月診療)

診療区分 疾病名	入院		外来		合計			
	件数	金額	件数	金額	件数	割合	金額	割合
感染症及び寄生虫症	1	192,630	77	566,480	78	0.8%	759,110	0.5%
新生物	40	20,333,550	247	6,384,100	287	3.0	26,717,650	18.5
内分泌栄養及び代謝疾患	7	3,374,960	388	4,151,690	395	4.1	7,526,650	5.2
血液及び造血系の疾患	1	4,110	48	274,830	49	0.5	278,940	0.2
精神障害	5	1,056,320	166	1,352,310	171	1.8	2,408,630	1.7
神経系及び感覚器の疾患	5	1,122,410	1,150	7,353,730	1,155	12.0	8,476,140	5.9
循環器系の疾患	15	5,442,370	1,394	14,454,570	1,409	14.7	19,896,940	13.8
呼吸器系の疾患	8	1,078,800	1,790	13,113,960	1,798	18.7	14,192,760	9.9
消化器系の疾患	38	9,649,970	1,387	16,666,690	1,425	14.8	26,316,660	18.2
泌尿生殖器系の疾患	11	2,099,920	449	6,812,670	460	4.8	8,912,590	6.2
妊娠・分娩及び産じよくの合併症	69	7,969,600	175	1,503,950	244	2.5	9,473,550	6.6
皮膚及び皮下組織の疾患	1	193,230	971	5,063,790	972	10.1	5,257,020	3.6
筋骨格系及び結合組織の疾患	10	3,118,450	696	5,611,300	706	7.3	8,729,750	6.1
先天異常	-	-	6	63,220	6	0.1	63,220	0.0
周産期に発生した主要病態	-	-	-	-	-	-	-	-
症状徴候及び診断名不明確の状態	1	342,800	94	524,600	95	1.0	867,400	0.6
損傷及び中毒	12	1,732,540	356	2,681,370	368	3.8	4,413,910	3.0
計	224	57,711,660	9,394	86,579,260	9,618	100.0	144,290,920	100.0

2 疾病分類にみる受診状況  
 医療費の分析調査は、前述のとおり年二回実施しましたが、いずれの月も教職員数、診療件数、受診率ともデータ値に多少の差はあるものの、対月比

1のとおり、いずれの月も年代が高くなるにつれて受診率が高くなっており、特に五十代においては、半数以上の方が何らかの疾病により、診療を受けていることとなります。

合計の件数欄で受診率の高い順にみると、第一位が呼吸器系の疾患

では、ほぼ同じ傾向を示しています。したがって、以下の報告は、受診件数及び医療費の平均的な六月即ち昭和六十二年六月の一般診療分をとりあげることにしました。

(1) 受診状況

昭和六十二年六月の受診状況を疾病分類(十七疾病別)でみたものが表5です。